

引き続き原油及び石油製品の価格動向を注視するとともに、原油価格高騰対策本部にてまいりたいと考えています。

Q

伊達市内の森林資源の保全と活用について



佐々木 彰 議員



市内の豊富な森林資源

A 森林整備計画等に基づいて、森林施業計画を策定している所有者を対象に、森林の現況調査や作業道の整備、下草刈り、間伐、植林等の施業に対する森林整備地域活動支援交付金事業と造林補助事業等の補助を行っています。また、県林業公社

現在、森林資源は活用することが少なく、荒廃が進んでいます。伊達市は森林が総面積の50%を占めており、これを放置しておけば、災害の引き金、地球温暖化にもつながります。

当市においては、針葉樹だけでも120万m³もの資源を抱えており、その他木質バイオマスへの活用を考えれば、非常に大きな産業としての潜在能力も持っています。これからの森林資源への取り組みについて考えを伺います。

おいて、府内の関係する情報を共有し、必要な対策を講じてまいりたいと考えています。



大條 一郎 議員

財政状況が厳しさを増す中で、行政サービスの低下を回避し、多様化する市民ニーズに的確に対応するためには、市職員の知恵と創意工夫による多様な手法を用いた事業展開が必要です。これまでの予算至上主義を転換するとともに、人件費は最大の事業費であるという逆転の発想で生み出されたのがゼロ予算事業と

造林の長期の分取造林契約さらには保安林の指定などにより、森林を広域的に保全してまいりたいと考えています。そのほか、平成19年度から開設された森林環境税交付金事業として、小学校を対象とした森林環境学習等基本枠の事業を引き続き実施する予定です。

また、森林の公益的機能の里山の整備や野生動物との共生、県産間伐材や木質バイオマスの利活用等も考慮した効果のある事業を開拓していくと考えています。その際には、各財産区の希望もしくは山林の現況を調査した上で箇所を特定し、継続実施する予定とあります。

Q

『ゼロ予算事業』への取り組みについて

言われています。

職員の意欲と能力を向上させるとともに、市民協働参画を推進するためにも、それらの事業を『ゼロ予算事業』として位置づけ、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

A ゼロ予算事業に該当する趣旨の事業は、環境整備及び美化作業8件、市民情報発信及びガイド事業

確保のために重点枠として実施しているものについては、各財産区の希望もしくは山林の現況を調査した上で箇所を特定し、継続実施する予定とあります。その際には、里山の整備や野生動物との共生、県産間伐材や木質バイオマスの利活用等も考慮した効果のある事業を開拓していくと考えています。



ゼロ予算で行われた市民懇談会（昨年7月）

これから行政サービスは、市民協働による行政運営が大変重要で、財政事情が厳しいです。ゼロ予算事業は、既存の人材、施設という資産やネットワーク等の機能を活用して事業を行うことで、事業費がなくても事業が実施できるという点では、有効な取り組みで、職員の意識の上でも大きな前進ではないかと考えています。

ゼロ予算事業は、既存の人材、施設という資産やネットワーク等の機能を活用して事業を行って事業費がなくとも事業が実施できるという点では、有効な取り組みで、職員の意識の上でも大きな前進ではないかと考えています。

中で職員自ら知恵を出して、創意工夫しながら行政運営を行つていかなければなりません。本市においても先進的な自治体の事例等を参考にしながら、今後行政評価システム

の活用による事務事業の評価を踏まえて、その中で事業の位置づけ及び既存事業を含め、取り組むべき課題ということを検討してまいりたいと考えています。

Q

協働のまちづくりと公民館の役割を問う



佐藤 実 議員

協働の自立したまちづくりを目指す本市にとって、公民館は住民のよりどころとしてまさに市民と行政をつなぐ最前線で必要不可欠です。しかし、行財政改革大綱では効率的、効果的な自治体経営のため組織の整備、統合が検討されようとしています。地区公民館が果たしている役割も大きく、同一視して評価、判断できない問題や課題も多く、公民館の今後についてどう考

えているのか伺います。

次に、阿武隈急行保原駅前広場の整備計画の概要と現状、

3年目を迎えたところです。今後、公民館組

A 今後ますます厳しい財源不足を来す状況が続く中で、合併によるメリットを発揮し、簡素で効率的な組織体制を構築しながら、行政コストの削減と財政の健全化を推進して行かなければならぬと考えてい



駐車場が整備された「阿武隈急行保原駅」

今後の整備スケジュールについて伺います。

50台の駐車スペースを確保しました。また今年度駐輪場6棟と東側駐車場1456m²の整備を進めています。これらにより、駅周辺の駐車場約100台と180台の収容可

能の駐輪場の確保をしたところです。今後、平成20年度事業として、構内道路幅員の拡幅整備を実施し、バスと一般車両等の交差が可能な幅員確

て検討してまいりたいと考えています。具体的には、市長部局へ生涯学習課を移し、学習センターという形で進めている市町村もありますので、これらを参考にしながら、これからの方を考えてまいりたいと考えています。

次に、保原駅前広場の整備計画の概要と現状ですが、平成18年度に駐車場不足を解消するため、保原駅南側に1800m²の駐車場を整備し、約50台の駐車スペースを確保しました。また今年度駐輪場6棟と東側駐車場1456m²の整備を進めています。これらにより、駅周辺の駐車場約100台と180台の収容可

能な駐輪場の確保をしたところです。今後、平成20年度事業として、構内道路幅員の拡幅整備を実施し、バスと一般車両等の交差が可能な幅員確

Q

危機的な市財政の運営をどう考えているのか



佐々木英章 議員

公債費が34億円前後のまま10年以上続き、合併後の平成18年から22年までの間に高水準の起債計画で、起債制限比率、実質公債比率が限りなく危険度に近づいた試算がされています。

また、地方交付税の合併特例廃止により20億円が減少することになつておりますが、財政試算を行つたことについて改めて考え方を伺います。

A 実質公債費比率は、平成18年度の決算では11・5%でした。財政運営に当たり平成23年度まで中期見通しを立て、事業量を見込み計画をしました。ただ、平成20年度までの3カ年間、地域創造基金の積み立てをするための借り入れが年間11億500万円と大きく、これが高水準になつてゐる原因です。

地方交付税の交付額は、合併算定替と一本算定の差ですが、平成19年度の交付税において申し上げますと、20億9143万5千円となり、平成32年度における見込みは62億円程度と見込まれます。今回お示ししました中・長期財政計画は、歳入に見合つた予算規模にしていくという基本的な考え方により作成しました。

また、財政健全化法に基づく基準指標に十分配慮しながら、将来とも持続可能で安定的な財政運営が図られるよう努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

昭和33年16床の診療所で開設し、現在、50床を有する病院として地域医療に貢献している。近年、財政が厳しく、年間1億数千万円を一般会計から繰り入れ、運営されている。従つて、廃止も含め、今後のあり方が検討されているが、特に病床数には、県計画に県北枠があり、廃止となれば50床分が市外へ流失する可能性が高まります。そこで、旧梁川町が維持し続けた地域医療及び職



高橋 一由 議員



病床数50床を有する「市立梁川病院」

A 市立病院については、員の身分を保証し、民間を活用して存続すべきと考えるが、ひどいところが最善と考えています。その際、社会的療養入院中の患者さんへの対応が、ひとつ大きな課題となります。いずれにしても、市としての結論は今後2年以内に出さなければならぬと考えています。

経営することが大切なのではなく、市民の医療体制をどう整えるかということを

目的としています。そのことが民間の医院や病院によって達成されればなんら問題はありません。したがって、市立病院の今後については、廃止の選択肢もあるが、引き受け手があれば、民間に移行していくことが最善と考えています。

その際、社会的療養入院中の患者さんへの対応が、ひとつ大きな課題となります。いずれにしても、市としての結論は今後2年以内に出さなければならぬと考えています。

市政を知るよい機会です 議会を傍聴 しましよう

6月定例会は6月中旬開会の予定です。

あなたの声を議会に

住民が地方公共団体や地方議会などに対し、要望や希望を述べることを請願と言います。憲法第16条の基本的人権や地方自治法第124条により請願権が認められています。

請願の取り扱い

議会に提出された請願は、内容により所管する常任委員会で審査され、本会議において採択・不採択を決定します。結果は、請願者に通知します。

請願書の出し方

表紙には請願件名および紹介議員の署名を記載し、さらに、本文では趣旨・提出年月日・請願者の住所・氏名（法人の場合は名称と代表者の氏名）を記載し、押印のうえ議長あてに提出してください。

- 請願は、1つの案件ごとに1請願書として作成し、2つ以上の案件を1つの請願書に記載しないようにしてください。
- 必要に応じて略図を添付してください。
- 請願書は次の様式により、できれば横書きしてください。

表紙

本文

〇〇〇に関する請願書	(件名) 〇〇〇〇〇〇〇
紹介議員 氏名 (署名又は記名捺印)	請願の趣旨 何々 ······ 平成 年 月 日 市議会議長あて

住所(代表者の) 氏名 外名	(注意) 請願(陳情)は原則として3、6、9、12月の年4回開催される定例会で審査されますが、提出期限がありますので議会事務局に確認の上、早めに提出してください。
----------------------	--

陳情書の出し方

陳情書は、請願書と同様に提出してください。紹介議員は必要ありません。

【お問い合わせ】伊達市議会事務局
電話番号：024-575-1217